

活動内容のご紹介

～ 令和6年6月7日（金）伊丹市立西中学校～

NPO法人あすの夢土木との共催で、伊丹市西中学校にて2年生17名に対し防災教育出前講座を実施しました。今回はジオラマ模型を用いた水害再現の実演のみを行いました。また、これまでも行なってきましたが、模型での水害再現をご覧いただくことと並行して、右のようなフリップを用いて、水害の種類やその種類ごとの危険性、「流域治水」の考え方やその必要性、「水防団」についてのご紹介なども実施しています。

講座終了後に行ったアンケートでは、「まちに水が流れることは一つだけの原因ではなく、いろいろな原因があることがわかった。」、「自分でできる防災は少ないかもしれないけれど、気にしてみたいと思った。」などの感想を頂いており、水害に対する理解や防災意識の向上に微力ながら貢献できたのではないかと考えています。



りゅういきすい
流域治水とは

国、県、市、会社、住民など**みんなで力を合わせて大雨に立ち向かうこと！**

- ① 氾濫（はんらん）をふせぐ・へらす対策
- ② 被害（ひがい）を少なくする対策
- ③ 被害をかるく、早く元のくらしをとりもどすための対策

当社は、国土交通省が創設した「流域治水オフィシャルサポーター」に登録されました。
模型を使った防災教育活動を通じて「流域治水」の浸透を図ります。

すいぼうたん
水防団とは

大雨や台風などによる水害からまちを守るための活動（水防活動）をする組織のこと
そのまちに住む人々が団員として活躍しています！

水害が発生するかもしれないまちで、自分たちの地域は自分たちで守る！